

2025年2月20日  
株式会社ダスキン

---

## 第6回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」環境サステナブル企業部門 株式会社ダスキンが「環境サステナブル企業」に選定

---

株式会社ダスキン（本社：大阪府吹田市、社長：大久保 裕行）は、環境省が主催する第6回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の環境サステナブル企業部門において、「環境サステナブル企業」に選定されました。



「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」は、ESG金融または環境・社会事業に積極的に取り組み、インパクトを与えた機関投資家、金融機関、仲介業者、企業等について、その先進的取り組み等を広く社会で共有し、ESG金融の普及・拡大につなげることを目的として環境大臣が表彰するものです。

重要な環境課題に関する「リスク・事業機会・戦略」、「KPI」、「ガバナンス」の開示充実度を業種別特性も考慮して評価・選定しており、一定の基準を満たしている企業を「環境サステナブル企業」として選定。当社を含め45社が選ばれました。

当社は2021年4月にCSV 経営の更なる推進に向け、環境マネジメント体制および環境方針を改定するとともに、2021年6月に2030年までの環境経営における目標「ダスキン環境目標2030（DUSKIN Green Target 2030）」を策定し、推進しています。

また、2050年のありたい姿として「ダスキン環境ビジョン2050」を2024年11月に策定しました。今後も具体的な施策や指標の充実を図り、より一体的な情報開示に努め、ステークホルダーの皆様の期待と信頼に応えるべく継続して改善に取り組むことで、更なる企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献する企業を目指します。

<ESGファイナンス・アワード・ジャパン【環境サステナブル企業部門】概要>

<https://www.env.go.jp/policy/award.kigyobumon.html>

<ESGファイナンス・アワード・ジャパン【環境サステナブル企業・環境開示プログレス企業一覧】>

<https://www.env.go.jp/content/000291277.pdf>

## ■ダスキン環境目標2030（DUSKIN Green Target 2030）について

循環型社会づくりに向けて、フード事業における食品ロス量の削減やグループ全体で使用している化石資源由来プラスチックの削減、容器包装プラスチックのリサイクル率を向上させる目標を設定しています。

また、脱炭素社会の実現に向けて、2030年度までに再生可能エネルギーの利用比率を高めるとともに、グループ拠点及びサプライチェーンにおけるCO2排出量の削減目標を掲げています。

今後も、サステナブルを目指す企業として環境保全と企業経営の両立に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

## ■ダスキン環境ビジョン2050（DUSKIN Green Vision 2050）について

現代社会は、経済・技術・文化が発展・進化している一方で、地球温暖化、廃棄物処理、天然資源の枯渇等の環境問題が深刻化しています。企業は単に経済的利益を追求するだけではなく、環境への配慮など社会的責任を果たし、持続可能な社会を目指すことが求められています。

私たちダスキンは、未来のありたい姿として「ダスキン環境ビジョン2050」を掲げ、「資源循環社会」「脱炭素社会」「環境共生社会」が実現するサステナブルな未来を築くために、4つのグリーンにチャレンジします。



<https://www.duskin.co.jp/sus/ecology/vision/>

## ■ダスキンのサステナビリティへの取り組み

<https://www.duskin.co.jp/sus/>